

## 小学校英語活動の現状と 今後の取り組みについて

(市教育委員会ヒアリング報告)

学習支援委員会 福12 川上 弘一

### 1, ヒアリング日時・場所・出席者

- (1) 日時： 平成21年2月2日 AM10:00～11:00  
 (2) 場所： 神戸市役所 教育委員会  
 (3) 出席者  
 教育委員会 指導部指導課国際教育担当  
 グループわ 学習支援委員会  
 委員長 中沢保夫  
 委員 川上弘一  
 アドバイザー 加藤勇治

### 2, 小学校英語活動の現状

#### (1) 小学校における英語活動の内容

現在小学校で実施している英語活動は、英語を教え込むのではなく英語に慣れ親しむ活動、英語を使ってゲームや遊びをしながら、楽しみながら英語になじみ楽しむ活動(英語学習活動)として実施している。

これは中学校、高校で本格的に行われる英語教育の“下地づくり”をすること、国際社会を知ること狙いとしている。

#### (2) 英語担当者と英語活動時間

##### 担当者

- ・現在各校1名のネイティブティーチャー(複数校を担当)が人材派遣会社から派遣され、担任教員が補助して実施されている。
- ・英語活動メニューはネイティブティーチャーに一任されている。
- ・市教育委員会では平成20年度から、英語活動を担える先生の研修を積み重ねてきた。

##### 英語活動時間

- ・平成15年度から3年生以上を対象に年間平均7時間程度実施している。

### 3, 今後の取り組み方針

#### (1) 英語活動時間(5・6/年生の場合)の充実

- ・平成23年度から年間35時間、週1時間の活動を目標に実施することになっている。
- ・そのために平成21年度は年間15時間、平成22年度年間25時間と段階的にこの英語活動時間を拡大していく方針である。

#### (2) 英語活動担当教員の育成と英語サポーターの増強

- ・英語活動の充実化に伴い、将来的には担任教員に一本化することを目指したい。担任教員の英語能力上弱点をカバーする教材

「英語ノート」の新調、など育成強化に力を入れ、担当教員が主役で、ネイティブティーチャーや英語サポーターが補助役として学習できるような体制にしていく方針である。

- ・当面はネイティブティーチャーのほか、担当教員が英語サポーターを動員して対応していきたい。
- ・英語サポーターとしては、グループわやシルバーカレッジの学生の方々のほか、教員を目指す大学生(英語メニュー履修中の学生)などの協力をを求めたい。
- ・市教育委員会では今後各校での英語サポーターの必要数を調査し、必要に応じ英語サポーターの補完を各校に勧めていきたい。

(以上)

私ども学級支援グループは他の教科と同様、学校からの要請に基づき、支援のご意向をおもちの登録者に活動をお願いします。(資格は不要です。)

支援者のできる範囲のことを  
要請校の求める範囲内で

活動者が、学校長、先生に会って打ち合わせ合意の上

実践に入っていただきたいと思ひます。

平成21年度の要請はすでに

[須磨区] 若草小、東落合小

[北区] 北五葉小 から来ています。

平成21年度第1回“学習支援者の集い”  
学習支援委員会

4月21日(火)10:00～12:00の間、神戸市シルバーカレッジにて開催しました。

多数の支援者およびKSC学生が出席され次の通り進行されました。

- (1)挨拶 グループわ理事長 加藤勇治  
引き続き本年4月着任されました  
カレッジマネージャー 中山喜統様から  
ご挨拶を頂きました。
- (2)平成20年度活動報告と平成21年度取り組み  
について説明
- (3)平成21年度神戸市立小学校・特別支援学校  
よりの学習支援要請校名と要請内容について  
発表
- (4)グループディスカッションで出席者全員の発言と意見交換  
5月連休明けより本格的に支援活動が始まることになりました。(次号に詳報の予定です。)